



SESERAGI-MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2009~2010年度 RI会長 ジョン・ケニー

RIテーマ THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS ロータリーの未来はあなたの手に

クラブ会長基本テーマ「笑顔で奉仕 楽しい仲間作り」 会長 山梨一正

副会長 西原克甫 幹事 中山和雄

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

第999回 例会 2010.05.21 (金) 晴

司会:石井邦夫君 指揮:土屋 巧君

ロータリーソング「我等の生業」

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ

会長 山梨一正君

今晚は。せせらぎ三島RC 1000回記念例会も来週となりました。

又、昨日はH2A17号による金星探査機の打ち上げに成功しました。今回の打ち上げは金星探査機「あかつき」だけでなく、3大学の衛星が相乗りしている事が話題となっており、日本の宇宙開発に対する技術の高さを世界に知らしめました。又今までに月探査機かぐや、小惑星のイトカワ探査機・はやぶさ気象衛星等多くの衛星を打ち上げ、その成果を上げています。



日本の打ち上げロケットは低価額で毎回のコストダウンも評価される中、小惑星のイトカワ探査機、はやぶさは月以外の惑星の岩石を採取し、持ち帰るといふ快挙を成し遂げようと現在7年の宇宙の旅から来月6月13日地球に採取カプセルを持ち帰ります。エンジン、エネルギー発電・通信機能の故障を奇跡的に克服し人間でいえば、ぼろぼろ状態でその任務を果たそうとしています。

科学的には色々な分野での資料となるようですが世界中が注目し、オーストラリアの砂漠に落下するその探査をアメリカのNASA始め世界各国が協力し合って回収するそうです。

地球の自然環境も宇宙も密接な関係があり今後の大きな礎になる事でしょう。

来月の13日が楽しみです。

又、現在日本では宮崎県における口蹄疫の問題が深刻です。

育てた豚や牛の殺処分は心が痛みますがそれに加えて酪農家にとっては死活問題です。今後はロータリアンも何が出来るか真剣に考える時が来たかもしれません。笑顔が消えないその日の為に。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	28/36	77.78%	28/36	
今回	77.78%		会員総数	
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

遠藤君、大房君、久保君、鈴木(政)君、宮沢君、山口(雅)君、山本(良)君、米山君



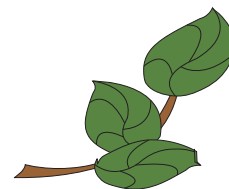
スマイルボックス

新井 香君:本日は卓話です。私の秘密のお話です。

野中 信行君:5月16日に8人目の孫が生まれました。

望月 保延君:このところ総会が例会とバッティングして欠席が続きました。皆様ゴメンナサイ。

天狗の会:ロータリークラブで釣りを楽しむ会天狗の会の「山田さんの釣った金目ダイを食べる会」を行いました。残金をスマイルします。



幹事報告

幹事 中山和雄君

1. 三島緑化運動推進協議会、小池会長より定時会の開催について、出席のご案内が来ました。
2. 三島ロータリークラブ、沼津ロータリークラブより週報が届いています。

私は1957年 ソウルで3姉妹の2番目として生まれました。小さい時から韓国舞踊を習いたかったのですが、家が貧しくてなかなか習わせてはもらえず、ようやく18歳の時に姉の友達の紹介で習うことができました。

昼間はゴルフ場で働き、夜は踊りの練習をしました。そのゴルフ場には女性のプロゴルファーがいて、彼女を毎日観ていたので自然にゴルフを覚えていました。皆さんが私のフォームがきれいだと言うのは、そのプロのフォームがとてもきれいだったからでしょう。

踊りの方でも1981年にアメリカ軍の偉い人がチェンジした時に選ばれて一週間披露したこともありました。その後、日本で韓国クラブをオープンする為に、踊り子のスカウトに来たときに「日本に行かないか？」と誘われ来日しました。

その頃はまだ一般の人は外国へ出る事が出来なかった時代で、少し怖かったけど友達と一緒にだったので1981年に日本に渡りました。

空港に着いた時、清潔で美しく、日本人もやさしかったことが印象に残っています。その時は6ヶ月日本にいて一旦帰国し、その後再来日し仙台から三島に来ました。

そして三島で結婚したのですが、いろいろあって16年前に娘2人連れて離婚しました。始め「とんぼ」というお店をはじめましたが、経験も無く、人を使ったりで4年半程やりましたがすごく大変で店を閉めました。

それから焼肉屋をはじめたのですが、これも自分が出来ないのを人を使ってやっていたことと、丁度その頃狂牛病が流行っていたことや、毎月赤字赤字で大変でした。

そこで今度は、1人で出来ることをしようと今の「南」を開店し、お蔭様で今年で6年になります。今までなんとかやってこれたのも、三島の人達に助けられたからと感謝しております。

ひとつ心残りなのは、下の娘が小学校1年の時に離婚したので、子供が学校から帰って来た時に仕事に出ていて十分に子供の面倒をみる事ができなかったことです。子供には悪いことをしたなと思います。

こんな私ですが、これからもよろしくお願いします。



ロータリー世界各地から

チリへ救援物資を届ける

オーストラリアのロータリアン

去る2月、大地震に見舞われたチリでは数百人が命を落とし、推定300億米ドルもの被害が生じました。オーストラリアのロータリアンはこうしたチリの人々を助けようと、救援活動に取り組んでいます。

先週、チリのサンアントニオ港に到着した大型貨物コンテナには、病院用ベッド63台、未熟児用の加湿保育器2台、衣類や制服の入った箱数十個、学校用の机など、医療品や学校用の備品が積み込まれていました。コンテナの送り主は、オーストラリア（ニューサウスウェールズ州）のボンディ・ジャンクション・ロータリー・クラブです。

「隙間なく、できる限りたくさんの物資を詰めるようにした」と話すのは、クラブ会長エレクトで今回のプロジェクトのコーディネーターを務めたラッセル・ペインさんです。「被災地の復興を願って、コンテナに入れたのは救命用具など、どれも役に立つものばかりです」

クラブは、5000ドルを払って「Maersk Line」から貨物コンテナを入手しました。各品は現物抛出プログラムの「ロータリー・オーストラリア東部世界社会奉仕」プロジェクトを通じてオーストラリアのロータリアンから寄贈されたものです。コンテナへの荷詰めは、第9750地区のクラブが支援しました。

.....
**PHOTO
 GALLERY**

